



19 建第 74 号  
平成 19 年 4 月 23 日

国土交通省 道路局長 殿

珠洲市長 泉谷 満寿裕



### 中期的な計画の策定にあたっての意見書

#### 1、重点化を進める上で特に優先度の高い政策

半島の先端に位置する珠洲市の場合、県庁所在地の金沢へは能登有料道路を利用しており、地域の産業、観光、医療活動等の全てがこの幹線道路に頼っていると言っても過言ではありません。

しかし、この度の能登半島地震で能登有料道路が寸断され、能登は陸の孤島化され緊急輸送道路の必要性が一層認識されました。

中核都市等の場合は幹線道路の廻りに環状道路等が整備され、いずれの方向からもアクセス出来ますが、半島の場合は一方向のアクセスしかできず、その幹線道路が大きな被害を受けると、全ての生活・経済活動が停止してしまいます。

よって半島には能登有料道路と平行し、ダブルラダーで迂回ルートが確保出来るような周遊道路を整備し、代替経路を確保することでの地域の防災ネットワークづくりが必要と思われます。

また、広域的な交流人口の拡大を推進するため三大都市圏との近接性を高める高規格幹線道路（高速道路）の整備を積極的に推進することが重要であると思います。

#### 2、効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

道路は地域経済を支え、人々が生活する上での最も基本的な社会資本です。その道路整備が効率化だけを優先し、整備されていくと地方に住む人々の生活と、安全・安心はどんどん切り捨てられ、地域格差に一層の拍車がかかります。

今後の道路建設に当たり、より一層の創意工夫・新技術の導入によりコストを削減し、安全・安心の基本的事項には格差是正を図り整備していくべきと思われます。

### 3、その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

今回の能登半島地震では道路施設の他に道路斜面等に土砂崩れが発生し通行出来なくなる箇所が発生しました。

そこで道路の維持管理や保守点検を実施し、メンテナンスで施設の延命を図ると共に、橋梁等の耐震補強対策を進め、安全安心の確保と共にライフサイクルコストの削減に努めるべきと思われます。